

70

株主の皆様へ

第70期中間報告書

2022年2月21日～2022年8月20日

証券コード 8227



目次

株主の皆様へ	P1
営業の概況	P1-2
セグメント情報	P3-6
四半期連結財務諸表	P7

トピックス	P8
店舗のご案内	P9
会社の概況	P10

しまむらグループ

株式会社 **しまむら**

株主の皆様には、平素格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、ここに第70期上期（2022年2月21日から2022年8月20日まで）の概況についてご報告申し上げます。



代表取締役
社長執行役員

鈴木 誠

当第2四半期連結累計期間の営業成績

当第2四半期連結累計期間における我が国の経済は、4～6月期の実質GDPが年率換算3.5%増となり、個人消費もプラス成長となりました。一方、消費者物価指数は8月までの5ヵ月連続で前年同月比2%台の上昇率となっており、エネルギーや食料品価格の上昇が続いています。世界経済では、アメリカやユーロ圏でロシア・ウクライナ戦争の長期化に伴う消費者物価の大幅な上昇が続き、中国もゼロコロナ政策により経済成長が鈍化するなど、各国で景気後退リスクが上昇していることから、今後の国内経済の先行きは極めて不透明となっています。

営業成績に関する分析

1. 消費環境の概要

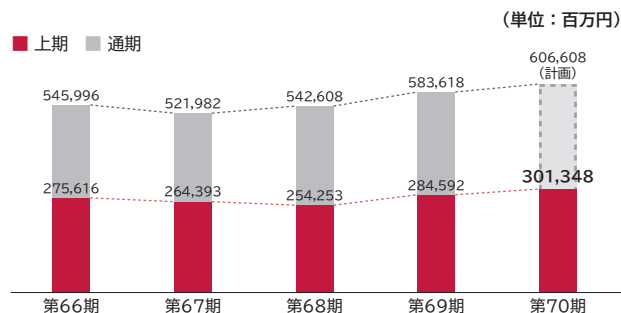
- 1) 当第2四半期連結累計期間の国内消費環境は、3年ぶりに行動制限のない夏休みとなり、旅行や帰省需要が戻り、各地で人流が増加したことで、7月の消費支出は2ヵ月連続で前年を上回りました。一方、電気代や食料品の価格高騰で7月の実質賃金は前年同月比で4ヵ月連続のマイナスとなり、新型コロナウイルス第7波の新規感染者も全国各地で高止まりしていることから、衣料品販売にとっては厳しい消費環境が続いています。
- 2) 天候については、5月下旬から6月上旬は東海以西で高気温が続いた一方、関東以北は気温が低下しました。6月中旬に全国的に梅雨入りしたものの、6月下旬には全国各地で実質的な梅雨明けと言える天気となり、気温が急上昇しました。7月上旬から下旬も全国的に真夏日が続き、関東以西では猛暑日も多く記録しました。8月上旬から中旬は東北と北陸で前線が停滞し雨が多くなりましたが、関東以西は引き続き猛暑となりました。

2. 当社グループの状況

このような状況下で、当社グループは令和4年度のグループ統一テーマを“リ・ボーン2ndステージ『進化と応用』”とし、再生し、進化した、見て触れて、楽しく選んで、気軽にお買い物ができる店で、お客様に“ワクワク”と“ウオンツ”をお届けするため、商品力と販売力の強化を更に推し進めています。事業の基礎と基盤の強化では、下期に顧客管理システムの導入やディバロ事業の新モデル店舗オープンを予定しています。

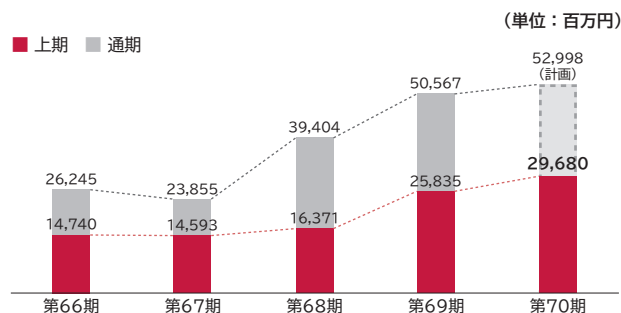
売上高

301,348百万円 前年同期比5.9%増 



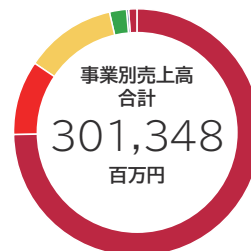
経常利益

29,680百万円 前年同期比14.9%増 



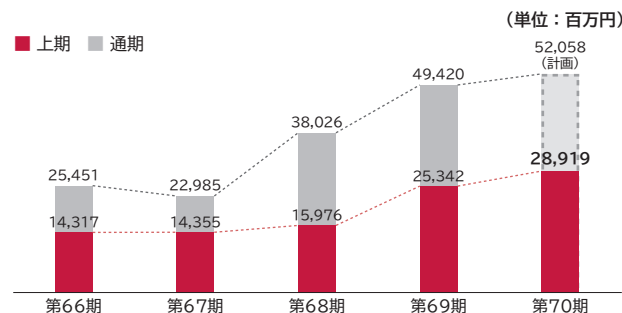
事業別売上高(単位：百万円)／構成比

■ しまむら	225,192	74.8%
■ アベイル	29,585	9.8%
■ バースデイ	35,948	11.9%
■ シャンブル	7,219	2.4%
■ ディバロ	378	0.1%
■ 思夢樂	3,023	1.0%



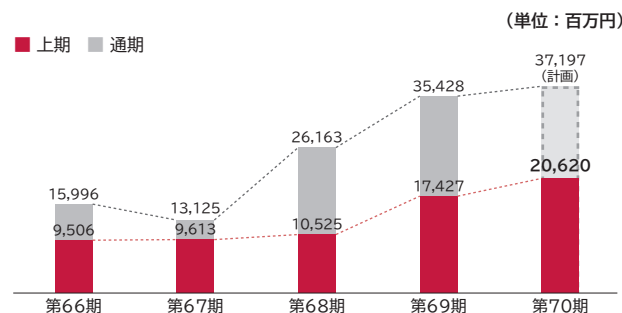
営業利益

28,919百万円 前年同期比14.1%増 



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益

20,620百万円 前年同期比18.3%増 



しまむら 事業

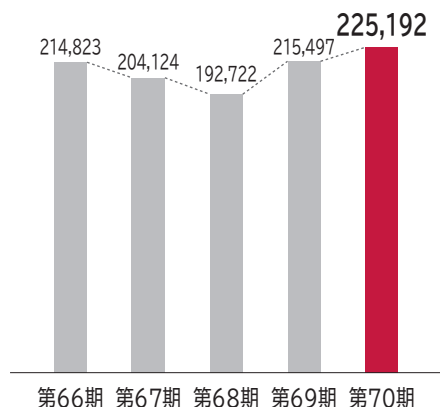
20代から60代の女性とその家族をターゲットとし、最新のトレンドファッションから、家族みんなが日常生活で使用する実用衣料・寝具・インテリアまで取扱う総合衣料品店です。

「きっと見つかる、みんなワクワク。」をコンセプトに、一人ひとりのお客様に寄り添った、「毎日の暮らしが楽しくワクワクする」豊富な品揃えを、良質低価の「しまむら安心価格」で提供する事業を展開しています。

売上高

(単位:百万円)

225,192百万円 前年同期比4.5%増



主力のしまむら事業は、ブランド力の進化のため、自社開発ブランド (Private Brand、以下PB) とサプライヤーとの共同開発ブランド (Joint Development Brand、以下JB) の品揃えを拡充しました。PBは夏物の肌着や寝具、帽子やひんやり雑貨の他、高価格帯の「CLOSSHI PREMIUM」も機能性を強化して好調でした。また、JBやインフルエンサー企画でトレンド提案を強化し、旬のキャラクター商品を積極展開したことで客数が増加しました。

在庫管理では、上海のロックダウンにより一部商品で納期遅れが発生する中、サプライヤーと連携して対処した結果、6月下旬以降の猛暑に対して夏物を十分に準備することができ、7月度は売上を大きく伸ばしました。

広告宣伝では、デジタル広告を中心とした新規販促媒体の拡大で客数が増加しました。チラシの打出しではインナーフェアなどの新企画が好調でした。店舗別対応では都市部限定チラシで該当店舗の売上が伸びました。

当第2四半期連結累計期間は2店舗を開設、1店舗を閉店し、1,422店舗となりました。

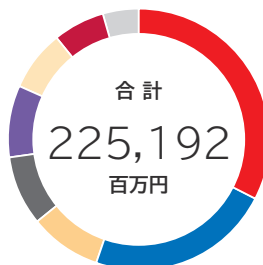
また売上高は前年同期比4.5%増の2,251億92百万円となりました。

自社開発ブランド (PB) 「CLOSSHI (クロッシー)」

しまむら 事業

商品部門別売上高 (単位:百万円) / 構成比

■ 婦人衣料	73,518	32.6%
■ 肌着	51,493	22.9%
■ 紳士衣料	19,842	8.8%
■ 洋品小物	19,697	8.7%
■ 寝装具	19,610	8.7%
■ ベビー・子供服	17,435	7.7%
■ インテリア	13,721	6.2%
■ 靴	9,871	4.4%



実感できる毎日

CLOSSHI
クロッシー

“実感できる毎日”をコンセプトに着心地、使い心地、触り心地にこだわり、「より豊かで」「より楽しい」暮らしを応援します。
その心地よさには理由(わけ)があります。

COTTON FROM USA®

環境にやさしい綿にこだわりをプラス「COTTON FROM USA®」

ONでもOFFでも
2倍使える!

1枚で2倍のコーディネート提案「ONでもOFFでも」

アベイル事業

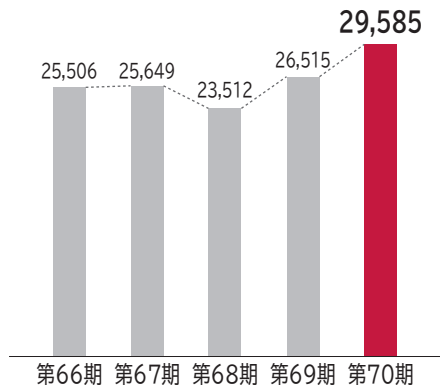
10代から40代をターゲットとし、レディース・メンズ衣料とシューズ・服飾雑貨をトータルコーディネートできるヤングカジュアルの専門店です。「今を着る」をコンセプトに、幅広いテイストのファッションを、最新トレンドからベーシックまでリーズナブルに提供する事業を展開しています。

売上高

(単位:百万円)

29,585百万円

前年同期比 11.6%増



アベイル事業は、JBとキャラクター商品の打出しを強化しました。JBはレディースとメンズのアウトwear衣料とアクセサリを同一売場内で関連販売し好調でした。服飾雑貨はバッグや帽子、アームカバーが外出需要の回復と猛暑により売れ筋となりました。インテリア・生活雑貨は、キャラクター商品の品揃えを拡充し売場も拡大したことで売上を伸ばしました。販促ではデジタル広告を拡大し、都市部店舗の限定チラシも効果的でした。

当第2四半期連結累計期間は1店舗を開設、2店舗を閉店し、313店舗となりました。また売上高は前年同期比11.6%増の295億85百万円となりました。

サプライヤーとの共同開発ブランド (JB)



「CHIP CLIP (チップクリップ)」



「SUREVE (シュリーブ)」



「Rag Out (ラグアウト)」

バースデイ事業

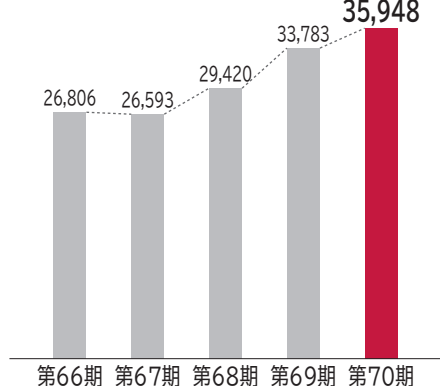
出産から育児、小学校までのあらゆるシーンに対応した、幅広い商品を提供するベビー・子供用品の専門店です。**バースデイ**にしかないオリジナル商品を衣料品から雑貨、大物育児用品まで幅広く取扱い、こだわりをもった商品を「高感度・高品質・高性能」で提供する事業を展開しています。

売上高

(単位:百万円)

35,948百万円

前年同期比 6.4%増



バースデイ事業は、JBの展開を拡大し、主力JBの「futafuta (フタフタ)」はブランド10周年企画が好調でした。新生児向け新規JBの「Cottoli (コトリ)」はギフト提案の強化により売上を伸ばしました。また、行楽・帰省需要により、ベビーカーやチャイルドシート、スイムグッズや浴衣・甚平も好調でした。販促では、新規販促媒体の拡大やインフルエンサーの活用など、デジタル販促の多様化が集客力強化に効果的でした。

当第2四半期連結累計期間は2店舗を開設、2店舗を閉店し、店舗数は310店舗となりました。

また売上高は前年同期比6.4%増の359億48百万円となりました。

サプライヤーとの共同開発ブランド (JB)



「Cottoli (コトリ)」



「futafuta (フタフタ)」



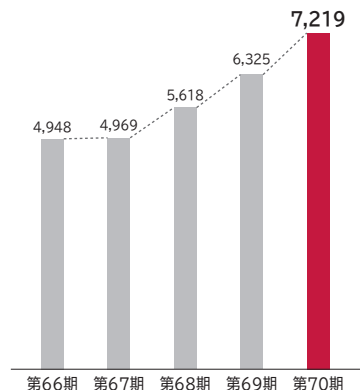
「tete a tete (テータート)」

シャンブル事業

売上高

(単位: 百万円)

7,219百万円 前年同期比14.1%増



10代から60代の女性をターゲットとし、「日々の暮らしに癒しと幸せをお届けする」をコンセプトとした雑貨と婦人ファッションの専門店です。雑貨・インテリア・衣料品・服飾雑貨などの幅広い品揃えでライフスタイルを提案する事業を展開しています。

シャンブル事業は、お出かけ需要の回復でバッグや帽子、アームカバーなどの服飾雑貨が売上を伸ばしました。新規品揃えでは絵本キャラクターなど新規キャラクターのスリッパやクッションが好調でした。ギフト向け商品はシーズン毎のテーマに沿って品揃えし、販促物やラッピング資材もテーマに連動した色や柄としました。また、お客様が商品やラッピング資材を自由に選べる「ギフトマルシェ」は特設売場の販売を強化し、客数や1点単価が上昇しました。

当第2四半期連結累計期間は7店舗を開設し、店舗数は109店舗となりました。

また売上高は前年同期比14.1%増の72億19百万円となりました。

テーマに沿った販促物とラッピング資材の連動



店内販促物



2月23日号チラシ



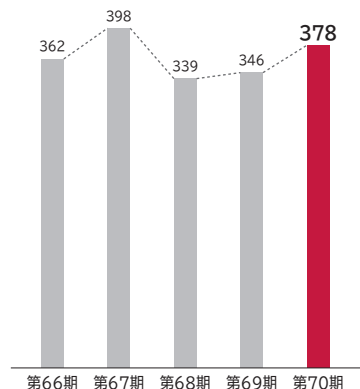
ラッピング資材

ディバロ事業

売上高

(単位: 百万円)

378百万円 前年同期比9.3%増



20代から50代の女性とその家族をターゲットとし、「足元を含めた着こなし提案の店」をコンセプトとしたファッショングッズの専門店です。婦人の衣料・服飾雑貨・靴を全身コーディネートできる品揃えとし、靴は婦人から紳士、子供まで幅広く取扱うことで、家族単位での買物環境を提供する事業を展開しています。

ディバロ事業は、外出需要の高まりでレディースとメンズのシューズ全般が好調で、スニーカーやサンダル、パンプスやビジネスシューズが売上を伸ばしました。また、「靴&ファッション」の新モデル店舗を想定し取扱いを拡大したアウター衣料と服飾雑貨は、靴との着こなし提案を強化し買上点数が増加しました。販売力の強化では、SNS配信の回数と媒体の種類を増やしたことでSNS会員数が大幅に増加し、客数増加に繋がりました。

当第2四半期連結累計期間の店舗開設・閉店はなく、15店舗での営業となりました。

また売上高は前年同期比9.3%増の3億78百万円となりました。

取扱いを拡大したアウター衣料と服飾雑貨



4月26日号チラシ



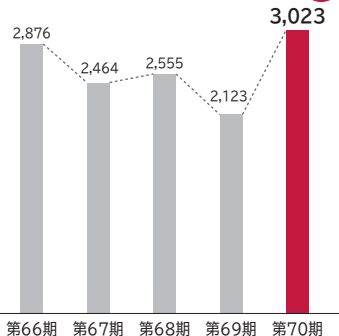
6月28日号チラシ

思 夢 樂 事 業

売上高

(単位: 百万円、
日本円換算)

3,023百万円 前年同期比22.9%増



台湾において「**ジョイフルシティ・しまむら**」事業と同様の衣料品を販売する事業を展開しております。

台湾で展開する**思 夢 樂**事業は、総合衣料の専門店として、台湾のお客様にとって適時、適品、適量、適価な品揃えとするために事業の再構築を進めています。6月度から7月度前半は雨の日が多く、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う外出自粛も続きましたが、7月度後半から8月度は晴天と高気温の日が続き、外出自粛ムードも緩和されました。商品では取扱い比率を増やしたPBやJBが好調で、販促ではSNS販促を強化し客数が増加しました。

当第2四半期連結累計期間の店舗開設・閉店はなく、42店舗での営業となりました。

また売上高は前年同期比22.9%増の6億65百万NT\$ (30億23百万円)となりました。

直営オンラインストアでアベイルとシャンブルの取扱いを開始しました。



「アベイルやシャンブルでお買い物したいのに近くにお店がなくて行けない!」

…そんなお客様の声に応えて、2022年4月21日にオンラインストアがオープンしました。

自宅配送はもちろん、事前決済なら**しまむらグループ** (**ジョイフルシティ・しまむら・アベイル・バースデイ・シャンブル**) 2,100店舗以上のどの店舗でもご注文商品が受取りが可能です。(配送料: 自宅配送は有料、店舗受取は無料) 品揃えは随時拡大中です。

詳しい情報は、ぜひ当社ホームページをご覧ください。



アベイル
オンラインストア
4/21(木)
12:00
OPEN



「今を着る」をコンセプトに、幅広いテイストのファッションを、最新トレンドからベーシックまでリーズナブルに提供しています。



スマートフォン用
QRコード

アベイルオンラインストア

URL : <https://www.shop-shimamura.com/?b=avail>



雑貨・インテリア・衣料品・服飾雑貨などの幅広い品揃えでライフスタイルを提案しています。



スマートフォン用
QRコード

シャンブルオンラインストア

URL : <https://www.shop-shimamura.com/?b=chambre>

四半期連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結会計期間 2022年8月20日	前連結会計年度 2022年2月20日
資産の部		
流動資産	319,229	302,626
固定資産	171,783	172,184
有形固定資産	138,450	139,033
無形固定資産	913	904
投資その他の資産	32,419	32,247
資産合計	491,012	474,811

	当第2四半期 連結会計期間 2022年8月20日	前連結会計年度 2022年2月20日
負債の部		
流動負債	54,367	54,433
固定負債	9,641	9,382
負債合計	64,009	63,815
純資産の部		
株主資本	423,452	407,595
その他の包括利益累計額	3,550	3,399
純資産合計	427,003	410,995
負債純資産合計	491,012	474,811

四半期連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 2022年2月21日～ 2022年8月20日	前第2四半期 連結累計期間 2021年2月21日～ 2021年8月20日
売上高	301,348	284,592
売上原価	197,614	186,920
売上総利益	103,733	97,671
販売費及び一般管理費	75,516	72,870
営業利益	28,919	25,342
経常利益	29,680	25,835
特別利益	1	180
特別損失	348	436
税金等調整前四半期純利益	29,334	25,579
親会社株主に帰属する四半期純利益	20,620	17,427

四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

	当第2四半期 連結累計期間 2022年2月21日～ 2022年8月20日	前第2四半期 連結累計期間 2021年2月21日～ 2021年8月20日
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,687	16,084
投資活動によるキャッシュ・フロー	△25,215	41,546
財務活動によるキャッシュ・フロー	△4,780	△4,415
現金及び現金同等物に係る換算差額	55	19
現金及び現金同等物に係る増減額(△は減少)	△10,252	53,235
現金及び現金同等物の期首残高	182,427	10,486
現金及び現金同等物の四半期末残高	172,175	63,722

デジタル販促の活用

デジタル広告を中心とした販促媒体の多様化で客数が増加しました。



「素肌すずやかデニム&パンツ」

PB (自社開発ブランド) の動画広告



「超COOLシリーズ」



「設立69周年しまむら祭」

WebCMの活用

しまむら サステナビリティへの取組み

当社は、持続可能（サステナブル）社会の実現のため、「社員」「お客様」「取引先」「株主」「社会」にとって【いい会社】を目指しています。

「お客様が楽しくお買い物できる【いい会社】」「社員がずっと働き続けたい【いい会社】」「社会に必要とされる【いい会社】」の実現に向けて様々なサステナビリティ活動に取り組んでいます。

その取組み状況をより分かりやすく発信することを目的にサステナビリティサイトを2022年4月4日にリニューアルしました。



当社Webサイト 「しまむらの“いい会社”宣言」

スマートフォン用
QRコード



Webサイト&動画はこちらからご覧ください。

<https://www.shimamura.gr.jp/sustainability/goodcompany.html>

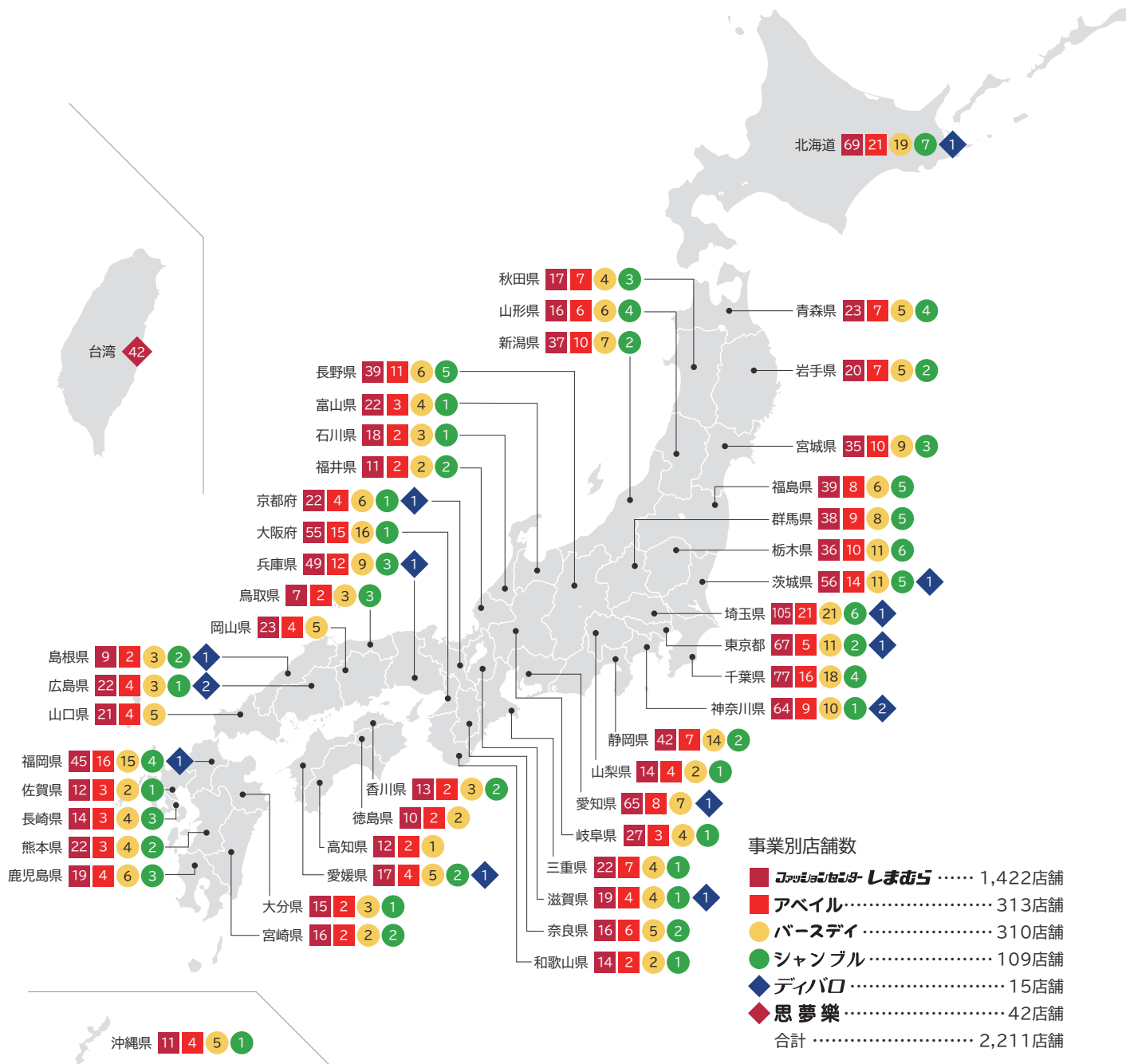


しまむらが当たり前に取り組んできたことを動画で3本紹介しています。

- ①商品廃棄ゼロ編
- ②資源のリサイクル編
- ③お客様とリサイクル編

動画「知ってナットク!!地球を守るしまむらの当たり前」

店舗のご案内(2022年8月20日現在)



■会社概要

商 号	株式会社 しまむら SHIMAMURA Co.,Ltd.
主な事業内容	総合衣料品の販売
資本金	17,086百万円
従業員数	正社員 2,853名 定時社員 15,420名

■役員の状況

取締役	代表取締役	鈴木 誠
	取締役	高橋 維一郎
	取締役	齋藤 剛樹
	取締役	中平 貴士
	取締役相談役	藤原 秀次郎
	取締役（社外）	松井 珠江
	取締役（社外）	鈴木 豊
	取締役（社外）	室久保 貞一
監査役	常勤監査役	吉岡 秀行
	監査役	島村 裕之
	監査役（社外）	堀之北 重久
	監査役（社外）	大参 哲也

■株式の状況

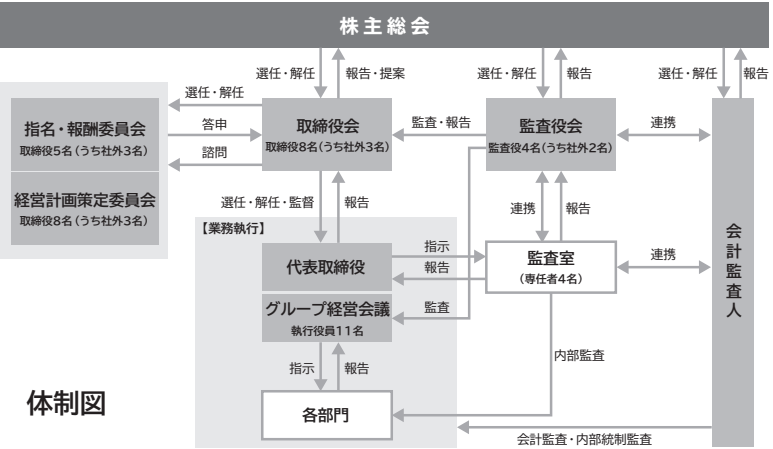
発行可能株式総数	120,000,000株
発行済株式の総数	36,913,299株
株主数	10,438名

執行役員	社長執行役員	鈴木 誠
	上席執行役員	昆野 一夫
	上席執行役員	佐藤 政明
	上席執行役員	高橋 維一郎
	執行役員	齋藤 剛樹
	執行役員	中平 貴士
	執行役員	近藤 英行
	執行役員	関 信太郎
	執行役員	中村 武
	執行役員	辻口 芳輝
	執行役員	上田 肇

コーポレートガバナンスの体制（2022年8月20日現在）

組織形態	監査役会設置会社
取締役会議長	代表取締役 社長執行役員 鈴木 誠
取締役人数	8名（うち社外取締役3名、うち女性取締役1名）
監査役人数	4名（うち社外監査役2名）
指名・報酬委員人数	取締役5名（うち社外取締役3名、うち女性取締役1名）
経営計画策定委員人数	取締役8名（うち社外取締役3名、うち女性取締役1名）
取締役会開催	月1回以上
グループ経営会議開催 ^{（※）}	週1回
監査役会開催	月1回以上
独立役員	社外取締役3名、社外監査役2名
会計監査人	有限責任あずさ監査法人

※経営効率と運営スピードを向上させるため、執行役員によるグループ経営会議を開催しています。



株主メモ

事業年度	2月21日から翌年2月20日まで	株主名簿管理人 及び特別口座の 口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
定時株主総会	毎年5月	郵便物送付先	東京都杉並区和泉二丁目8番4号 (〒168-0063) 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031 (フリーダイヤル)
単元株式数	100株	公告の方法	電子公告の方法により行います。 ただし、電子公告によることができない事故 その他のやむを得ない事由が生じたときは、 日本経済新聞（東京）に掲載します。 公告掲載アドレス https://www.shimamura.gr.jp/
基準日	定時株主総会 2月20日 期末配当 2月20日 中間配当 8月20日		

- **住所変更、単元未満株式の買取のお申出について**
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **未払配当金の支払いについて**
株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
- **「配当金計算書」について**
配当金のお支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。

ホームページのご案内

- ◆ **店舗情報・今週のチラシ情報・オンラインストアについて**
各事業の店舗情報・今週のチラシ情報・オンラインストアについてご紹介しています。
- ◆ **IR 情報について**
株主の皆様へ財務・株式データや売上速報など最新の情報をご提供しています。

詳しい情報は、ぜひホームページをご覧ください



スマートフォン用 QR コード



※「QRコード」は株式会社デンソーウェブの登録商標です。

<https://www.shimamura.gr.jp/>

